3G対応 HDMI/DVIカラーキーヤー HCK-30 HDMI/DVI COLOR KEYER



このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。 安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1)電源プラグ、コードは

- ・定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2)本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を 停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに 電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3)修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4)その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめて から行ってください。
- ・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1)機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。 また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2)外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。 マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。 また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。 安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。 期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
 なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。
 - (1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
 - (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
 - (3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
 - (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
 - (5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、 以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

••••••• 目 次 ••••••

この製品を安全にご使用いただくために
保証規定
1. 概 説1
《特 長》
2. 機能チェック
1. 構 成 2
2. POWER ON までの手順
3. 基本動作チェック
3. 各部の名称と働き
4. ケーブル抜け止めの装着方法7
5. 操作方法
1. 基本操作
2. 各機能の説明
6. 局間制御信号パケット・デジタル字幕データーパケット
7. USB 接続による PC からのコントロール
8. トラブルシューティング
9. 仕 様
1. 定格
2. 性能
3. リモートコネクター
10. 外形寸法
11. ブロック図

1. 概 説

HCK-30はHDMI(またはDVI-D)映像を3G-SDI・HD-SDI・SD-SDI信号にスーパーインポーズする、カラーキーヤー・ スーパー装置です。矩形貼り付け・クロマキー・セルフキー・カラーキーの多彩なキーヤー機能できれいにスーパー インポーズすることができます。また、セルフエッジ機能により、エッジのない素材にもエッジをつけることができます。

《特 長》

- ・ 本機のみでHDMI映像をSDI信号にスーパーインポーズすることが可能 ※1
- ・ SDI入力映像、HDMI入力映像のスナップショットをそれぞれ4画面保持可能 ※2
- ・ FILL信号・KEY信号をSDIで出力し、外部のスーパー装置でスーパーインポーズすることが可能
- ・ HDMI入力部にケーブルイコライザーを搭載しており、最大30mまでのケーブル長を補償 ※3
- ・ HDMI/DVI変換コネクターを使用することで、DVI-D信号も入力可能 ※4
- ・ HDMI映像のトリミング、ポジション調整が可能
- AES/EBU入出力(BNC 75Ω)を1系統装備 ※5
- ・ 音声チャンネルの組み換え・レベル調整が可能 ※6
- ・ プレビュー出力に、セーフティーマーカー(80%・86%・90%・94%)・4:3マーカーが表示可能
- ・ 局間制御パケット(ARIB STD-B39)、デジタル字幕パケット(ARIB STD-B37)のバイパスが可能 ※7
- ・ 設定の保存・呼び出しが可能(8バンク)
- ・ 接点入力によるテイク、設定呼び出しなどの制御が可能
- ゲンロックポジション調整機能により、任意の映像出力位相が可能
 - ※1 HDCPは未対応です。HDCP対応のグラフィックボード、DVDプレーヤー、Blu-rayレコーダーなど使用できない機器がございます。 HDCP対応の有無については、それぞれのメーカーにお問い合わせ下さい。
 - ※2 揮発性メモリに保存され、また、画角変換機能はありませんので、電源OFF・出力フォーマット変更により消失します。
 - ※3 使用するHDMIケーブルの特性など、条件によっては30mに満たない場合もございます。
 - ※4 シングルリンクのみ対応です。
 - ※5 1つの端子を入出力で兼用しております。入出力を同時に行うことはできません。
 - ※6 ドルビーデコーダーは内蔵しておりません。リニアPCMのみ対応しております。
 - ※7 SDI入出力フォーマットが1080p60/59.94(LEVEL-B)、1080i60/59.94、720p60/59.94、525iの場合に限ります。また、SDI入出力が 非同期の場合にはパケットの重複・欠落が発生します。

2. 機能チェック

1.構成

番号	品名	型名·規格	数量	記事
1	本体	HCK-30	1	
2	AC アダプター	VAC-12V03A	1	
3	ケーブル抜け止め		3	
4	取扱説明書		1	本書







図 2-1 外観図

2. POWER ON までの手順

(1)ACアダプターを、本体に接続します。

(2)ACアダプターをAC100~240V、50~60HzのAC電源に接続します。

(3)本体のパワーランプが点灯し、前面の表示器にステータスが表示されます。

2

3. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。 正常に動作しない場合はP.33「8.トラブルシューティング」をご覧ください。



図2−2 接続例

(1)SDI INコネクターにSDI信号を入力します。

(2)HDMI INコネクターにHDMI信号を入力します。

- (3)SDI LINE/FILL OUTコネクターの出力信号をSDIモニターへ、HDMI OUTコネクターの出力信号をHDMIモニター へ接続します。
- (4)SDIモニター・HDMIモニターに、SDI INに入力された映像が映し出されているかを確認します。
- (5)「KEYING MODE」(→P.12「KEYING MODE」)の設定を「BOX PASTE」に設定します。

(6)CUTボタンを押します。

(7)DSKランプが赤く点灯し、SDIモニター・HDMIモニターにHDMI INに入力された映像がスーパーされているかを 確認します。



【本体正面】



(1)SDI入力コネクター

ライン映像入力です。SDI 信号を入力します。

(2)リファレンス信号入力コネクター

リファレンス信号(BBS信号または3値SYNC)を入力します。

(3)SDI LINE/FILL出力コネクター

SDI信号が出力されます。

設定によりライン映像またはフィル映像が出力されます。(→P.21「SDI OUTPUT MODE」)

出力1と出力2は同一の映像が出力されますが、出力1のみ、電源OFF時にSDI入力コネクターからの

エマージェンシー・スルーに対応しています。

(4)SDI PV/KEY出力コネクター

SDI信号が出力されます。

設定によりプレビュー映像またはキー映像が出力されます。(→P.21「SDI OUTPUT MODE」)

出力1と出力2は同一の映像が出力されます。

(5)AES/EBUデジタル音声入出カコネクター

デジタル音声(AES/EBU)の入出カコネクターです。

入出力はメニューで切り替えます。(→P.17「AES/EBU IN/OUT」)

(6)通風孔

内部冷却用の通風孔です。ふさがないようにしてください。

(7)HDMI出力コネクター

HDMI信号が出力されます。

設定によりライン映像、プレビュー映像、フィル映像、キー映像、SDI入力映像が出力されます。

 $(\rightarrow P.21^{\Gamma}HDMI OUTPUT MODE_J)$

(8)HDMI出カコネクター ケーブル抜け止め取り付け穴

付属のケーブル抜け止めを取り付けます。(→P.7「ケーブル抜け止めの装着方法」)

(9)電源コネクター

DC9~18Vを接続します。通常は付属のACアダプターをご使用ください。

※電源を投入するとすぐに起動します。電源スイッチはありません。

(10)HDMI入力コネクター

フィル映像入力です。HDMI信号を入力します。

市販の変換ケーブルでHDMIプラグに変換されたDVI-D信号も入力できます。

(11)HDMI入力コネクター ケーブル抜け止め取り付け穴

付属のケーブル抜け止めを取り付けます。(→P.7「ケーブル抜け止めの装着方法」)

(12)排気孔

内部冷却用ファンの排気孔です。ふさがないようにしてください。

(13)USBコネクター

mini BタイプのUSBコネクターです。

PCと接続し、各種設定を行うことができます。(→P.25「USB接続によるPCからのコントロール」)

(14)USBコネクター ケーブル抜け止め取り付け穴

付属のケーブル抜け止めを取り付けます。(→P.7「ケーブル抜け止めの装着方法」)

(15)リモートコネクター

6系統の接点入出力端子があり、接点信号でさまざまなコントロールができます。(→P.22「GPI」)

(16)SDI入カランプ

SDI入力コネクターに有効なSDI信号が入力されたとき、緑点灯します。

(17)リファレンス信号入力ランプ

ゲンロックモードが外部リファレンスモード時に、リファレンス信号の入力状態を表示します。

リファレンス信号入力コネクターに有効なリファレンス信号が入力されたとき、緑点灯し、有効なリファレンス 信号が入力されない場合は赤点滅します。

(18)AES/EBUデジタル音声入力ランプ

AES/EBUデジタル音声入出カコネクターが入力モードで、AES/EBU信号が入力されているとき緑点灯します。 (19)DSK表示ランプ

スーパーがONのとき、赤点灯します。フェードイン/フェードアウト中はアンバーに点灯します。

(20)操作ボタン

各種操作を行います。

MENU	設定メニューを表示します。設定中は、キャンセルボタンとして動作します。
SET	設定中、決定ボタンとして動作します。
▲·▼	メニュー移動、パラメーター変更などに使用します。
CUT	スーパーのON/OFFをカットで行います。
FADE	スーパーのON/OFFをフェード行います。フェード時間が設定できます。

(21)パネルロックスイッチ

ONにすると、操作ボタンの動作をロックし、誤操作を防止します。

※誤操作防止のため、ツマミが短くなっております。ペン先などで操作してください。

(22)パネルロックランプ

パネルロックスイッチがONになっているとき、緑点灯します。

(23) 電源ランプ/ファン警告ランプ

電源が入っているとき、緑点灯します。

内部冷却用ファンの回転数が低下した場合、赤点滅します。この場合は速やかに使用を中止し、弊社まで ご連絡ください。

(24)表示器

各種ステータスの表示や、メニュー操作の内容が表示されます。

(25)HDMI入カランプ

HDMINに映像が入力されているとき、緑点灯します。

HDCP(著作権保護)を検出した場合は、赤点灯します。

※映像入力とHDCPを同時に検出した場合は、両色(アンバー)点肌ます。

(26)USB接続ランプ

PCからのコントロールが有効なとき、緑点灯します。(→P.25「USB接続によるPCからのコントロール」)

4. ケーブル抜け止めの装着方法

- (1) HCK-30本体のHDMI入力コネクター・HDMI出力コネクター・USBコネクターの近くにある取り付け穴に、 付属のケーブル抜け止めを挿入します。(図4-1)
 ※注意:ケーブル抜け止めは一度装着すると、HCK-30本体から取り外すことができません。
- (2) ケーブルに、付属のケーブルクリップを装着します。(図4-2)
- (3) ケーブル抜け止めをケーブルクリップに通し、ケーブルをHCK-30本体に接続します。 この時、ケーブル抜け止めの「ひだ」がある面を、ロック解除レバーがある側にします。(図4-3)
- (4) ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルが固定されているかを確認します。
- (5) ケーブルを抜くときは、ケーブルクリップのロック解除レバーを押し倒しながらケーブルを引き抜きます。 (図4-4)



図4-1

⊠4-2





図 4-3

⇒





図 4-4

⇒

5. 操作方法

1. 基本操作

※文中のMENU SET ▲ ▼ CUT FADEは、操作ボタンの操作を示します。

(1) ステータス画面

電源投入直後、表示機には各種ステータスが表示されています。

▲または▼を押すと、ページを切り替えることができます。

また、SETを約1秒長押しすると、プリセット呼び出し(→P.22「LOAD PRESET」)にジャンプすることができます。

(i)映像出力ステータス

映像出力に関するステータス表示します。

VIDEO OUT	映像出力のフォーマットが表示されます。
LINE	ライン映像のソースが表示されます。(SDI INまたはSNAPSHOT1~4)
FILL	フィル映像のソースが表示されます。(HDMI INまたは
	SNAPSHOT1~4)

(ii)SDI IN入力ステータス

SDIIN入力に関するステータスを表示します。

SDI IN	SDI INに入力されているSDI信号のフォーマットが表示されます。

VIDEO DELAY SDI映像入力から映像出力までの遅延時間の目安を表示します。

(iii)HDMI IN入力ステータス

HDMI IN入力に関するステータスを表示します。

```
HDMI IN HDMI INに入力されているHDMI信号のフォーマットが表示されます。
```

VIDEO DELAY HDMI映像入力から映像出力までの遅延時間の目安を表示します。

(iv)REF IN入力ステータス

REF IN入力に関するステータスを表示します。

REF IN REF INに入力されているリファレンス信号のフォーマットが表示 されます。

(2) メニュー操作

各種設定を行う際の、基本操作です。

- (i)ステータス画面でMENUを押すと、表示器がメニュー画面になります。オンスクリーン表示設定が有効に なっている場合は、プレビュー映像にメニューがオンスクリーン表示されます。
- (ii) ▲または▼を押し、設定する項目を選択します。
- (iii) SETを押すと設定値を変更することができます。
 ただし、さらに深い階層がある場合は一つ下の階層に進みますので、再度(ii)を行ってください。
 (このとき、MENUを押すと、一つ上の階層に戻ることができます。)
- (iv) ▲または▼を押し、設定値を変更します。
- (v) SETを押すと、設定を確定します。変更をキャンセルする場合は、MENUを押すことで変更前の設定値 に戻ります。
- (vi) さらに他項目の設定を行う場合は(ii)~(v)を繰り返し行います。
- (vii) 終了する場合はMENUを数回押して階層を上がっていき、最上階でMENUを押すとステータス画面に戻ります。オンスクリーン表示されている場合は、メニュー表示が消えます。

(3) スーパーのON/OFF

操作ボタンのCUTまたはFADEを押すことで、スーパーON/OFFの状態を切り替えることができます。

(i)CUT

スーパーを即座にON/OFFします。

スーパーがONの状態では、DSKランプが赤点灯します。

スーパーがOFFの状態では、DSKランプは消灯します。

(ii) FADE

スーパーをフェードイン・フェードアウトでON/OFFします。 フェードイン中はDSKランプがアンバー色に点灯し、フェードインが完了すると赤点灯します。 フェードアウト中はDSKランプがアンバー色に点灯し、フェードアウトが完了すると消灯します。 フェード中にCUTTを押すと、フェード動作は中止され、スーパーは即座にON/OFFされます。 フェード時間は1~150フレームの範囲で設定できます。(→P.16「FADE SPEED」) ※プレビュー映像では、スーパーのON/OFFにかかわらず常にスーパーされた状態になります。

メニューツリーを図5-1に示します。

※網掛けの文字は、工場出荷時設定です。





図5-1(a) メニューツリー



図5-1(b) メニューツリー(続)

2. 各機能の説明

(1) VIDEO PROCESS

映像に関する設定を行います。

(i) KEYING MODE

フィル映像に対するキー生成モードを選択します。

DISABLE	キーを生成しません。
BOX PASTE	矩形貼り付けを行います。
CHROMAKEY	クロマキーを生成します。
SELFKEY	フィル映像の輝度信号・色差信号をもとに、キーを生成します。
COLORKEY	指定した1色をキーにします。

(ii) CHROMAKEY PARAM.

HUE

```
クロマキーのパラメーターを設定します。
```

背景色の色相を0.0~359.5度の範囲で指定します。

 APERTURE
 HUEの角度を中心に、背景色の存在する角度を0~100の範囲で指定します。

設定値と角度の関係は、およそ

2 tan⁻¹ (APERTURE / 100) [度]

となります。

SATURATION 背景色の、ベクトル中心からのオフセットを-100~100の範囲で 指定します。

ベクトルスコープ上でのイメージを図5-2に示します。

被写体に反射した背景色をキャンセルし、グレーに近づける機能があります。

SPILL LEVEL 背景色キャンセルを行う範囲を0~100の範囲で指定します。 値が大きいほど広範囲の色をキャンセルします。0は背景色キャンセ ルを行いません。

 SPILL EDGE
 背景色キャンセルのなだらかさを0~100の範囲で指定します。値が小

 さいほど急峻となり、値が大きいほどソフトな抜き具合になります。



図5-2 ベクトルスコープ上でのクロマキーパラメーターイメージ

(iii) SELFKEY PARAM.

セルフキーのパラメーターを設定します。

LUMINANCE CLIP LOW 輝度成分からのキー生成プロセスにおける下限値を、0.0~99.9の範囲 で指定します。

LUMINANCE CLIP HIGH 輝度成分からのキー生成プロセスにおける上限値を、0.1~100.0の範 囲で指定します。

CHROMA CLIP LOW 色差成分からのキー生成プロセスにおける下限値を、0.0~99.9の範囲 で指定します。

 CHROMA CLIP HIGH
 色差成分からのキー生成プロセスにおける上限値を、0.1~100.0の範

 囲で指定します。



図5-3 セルフキー生成における輝度レベル・色差レベル補正

<セルフキーについて>

セルフキーは、フィル映像の持つ輝度信号および色差信号よりキーを生成するモードです。 フィル映像の輝度信号および色差信号は、LUMINANCE CLIPおよびCHROMA CLIPパラメーターによる 補正後(図5-4、図5-5)、いずれか大きいほうが選択されキー値となります。(図5-6)





※「COLORKEY PICKUP」の項目を設定中は、スーパーがONの状態でも、LINE映像およびFILL/KEY映像にスーパーは出力されません。また、PREVIEW映像では、X・Yで指定された座標が画面左上に来るようにHDMI入力映像が表示されます。

(vi) FILL SELECT

フィル映像を、内部発生の単一色に置き換えることができます。

フィル映像に、HDMIINからの入力映像を使用します。

INTERNAL HDMI INからの入力映像に代わり、内部発生した単一色を使用します。

※INTERNAL時の色は、次項「FILLCOLOR SD/HD」で選択できます。

※INTERNALが選択された場合でも、キー生成のソースはHDMI INからの入力映像を使用します。

(vii) FILLCOLOR SD/HD

HDMI IN

FILL SELECTでINTERNALが選択された場合の色を選択します。

SD、HD(3G)ごとにプリセットカラー32色および基本色8色から選択できます。

※プリセットカラーは、後述の「COLOR PRESET」で任意の色を作成できます。

(viii) FILL CUT • FILL TRIM

フィル映像の表示範囲を指定できます。

FILL CUTはフィル映像の一部を矩形にくりぬき、窓状に穴を開けたり、L字に表示することができます。 FILL TRIMは、フィル映像の一部を矩形に切り取り、不要部分を表示しないようにすることができます。 FILL CUT・FILL TRIMは併用が可能です。

定します。

X2	X座標の終点を指定します
ΛΖ	へ産保の総常を相定しより

Y2	Y座標の終点を指定します。

※映像の左上が座標0,0です。

※X1 < X2、Y1 < Y2となるように設定してください。

※X1・Y1は偶数座標、X2・Y2は奇数座標のみ指定できます。

※FILL CUT機能を使用しない場合は、X1またはY1をフィル映像の入力解像度範囲外に設定してください。

(ix) FILL POSITION

Х

フィル映像の表示位置を指定します。

フィル表示位置のX座標を指定します。

Y フィル表示位置のY座標を指定します。

※X・Yは偶数座標のみ指定できます。

(x) EDGE PARAM.

フィル映像の縁(生成されたキー信号の段差部分)にエッジを生成するためのパラメーターを設定します。

(a)EDGE MODE

エッジの生成方法を指定します。

DISABLE	エッジを生成しません。
NORMAL SOFT	上下左右に、ゆるやかなエッジを生成します。
NORMAL HARD	上下左右に、急峻なエッジを生成します。
DROP SOFT	DROP MODEで指定した方向に、ゆるやかなエッジを生成します。
DROP HARD	DROP MODEで指定した方向に、急峻なエッジを生成します。
CUSTOM SOFT	任意の方向に、ゆるやかなエッジを生成します。
CUSTOM HARD	任意の方向に、急峻なエッジを生成します。

(b)DROP MODE

EDGE MODEでDROP SOFT/HARDが選択された場合の、エッジの方向を指定します。

- TOP-LEFT 上側および左側にエッジを生成します。
- TOP-RIGHT 上側および右側にエッジを生成します。
- BOTTM-LEFT 下側および左側にエッジを生成します。

BOTTOM-RIGHT 下側および右側にエッジを生成します。

(c)EDGE WIDTH

- NORMAL/DROP EDGE MODEでNORMAL SOFT/HARDまたはDROP SOFT/HARDが選 択されたときの、エッジ幅を0・2・4・6・8から選択します。 CUSTOM TOP EDGE MODEでCUSTOM SOFT/HARDが選択されたときの、上側の
- エッジ幅を0・2・4・6・8から選択します。
- CUSTOM BOTTOMEDGE MODEでCUSTOM SOFT/HARDが選択されたときの、下側のエッジ幅を0・2・4・6・8から選択します。

CUSTOM LEFTEDGE MODEでCUSTOM SOFT/HARDが選択されたときの、左側のエッジ幅を0・2・4・6・8から選択します。

CUSTOM RIGHTEDGE MODEでCUSTOM SOFT/HARDが選択されたときの、右側のエッジ幅を0・2・4・6・8から選択します。

(c)EDGE COLOR SD/HD

エッジの色を選択します。

SD、HD(3G)ごとにプリセットカラー32色および基本色8色から選択できます。

※プリセットカラーは、後述の「COLOR PRESET」で任意の色を作成できます。

(xi) FADE SPEED

フェードでスーパーする場合のフェードスピードを、1~150フレームの範囲で設定します。

(xii) KEY LEVEL

キーの透過度を、0%(透過)~100%(不透過)で設定します。

(xiii) COLOR PRESET

FILL COLORおよびEDGE COLORで使用されるプリセットカラーを作成します。

32色までプリセットすることができ、また、それぞれに半角記号英数字で15文字以内の名前を付けることができます。

色相・輝度・彩度での指定となり、SD/HD(3G)の自動変換はありません。SD/HD(3G)混在システムの場合は、それぞれの色を作成してください。

COLOR PRESET設定に入った状態(表示器では設定パラメーターが表示されカーソルがない状態、オ ンスクリーン表示ではプリセット番号にカーソルがある状態)で▲または▼を押しプリセット番号を選択 し、SETを押して各パラメーターを選択します。



オンスクリーン表示

図5-7 カラープリセット設定画面

プリセット名 半角記号英数字で15文字以内の名前を付けることができます。

工場出荷時設定では、プリセット番号と同じプリセット名が設定されています。

プリセット名の設定に入ると、変更対象の文字は表示器の表示では反 転、オンスクリーン表示ではプリセット名の下にカーソルが表示される ので、▲または▼で文字を変更します。SETを押すと次の文字に、 MENUを押すと前の文字に戻り、15文字目でSETを押すと確定、1文字 目でMENUを押すと変更をキャンセルして設定を抜けます。

また、設定中にSETを約1秒長押しすると、カーソル以降の文字を空白にして確定させることができます。

- H 色相を0.0~359.9の範囲で指定します。
- L 輝度を-6.8~109.1の範囲で指定します。
- S 彩度を0.0~160.1の範囲で指定します。

※便宜上HLSの表現を使用していますが、一般的なHLS色空間ではなくベクトルスコープ上での色相・彩度をイメージした設定値に なります。

(2) AUDIO PROCESS

音声に関する設定を行います。

(i) PACKET MUX

SDI出力に、エンベデッド音声パケットを重畳するかを設定します。

GROUP1はエンベデッド音声チャンネル1~4、GROUP2はエンベデッド音声チャンネル5~8です。

- DISABLE SDI出力に音声パケットを重畳しません。
- ENABLE SDI出力に音声パケットを重畳します。
- (ii) AES/EBU IN/OUT

AES/EBU IN/OUTコネクターを、入力として使用するか、出力として使用するか選択します。

- INPUT AES/EBU INとして使用します。
- OUTPUT AES/EBU OUTとして使用します。

(iii) OUTPUT CH SELECT

音声の出力チャンネルを設定します。

 EMB OUT CH1~8
 エンベデッド音声出力の音声ソースを選択します。

 ※SDI出力、HDMI出力共通の設定です。別個の設定はできません。

 AES/EBU OUT CH1~2

 AES/EBU OUT CH1~2

音声ソースは、以下の項目から選択できます。

SDI IN CH1~8	SDI入力信号のエンベデッド音声から1つのチャンネルを選択します。
HDMI IN CH1~8	HDMI入力信号のエンベデッド音声から1つのチャンネルを選択しま
	す。
AES/EBU IN CH1~2	AES/EBUデジタル音声入力から1つのチャンネルを選択します。
400Hz Sin•1000Hz Sin	内部生成された400Hz・1000Hz正弦波です。
MUTE	無音です。

(iv) INPUT GAIN

SDI入力信号およびHDMI入力信号に重畳されているエンベデッド音声入力ゲイン、AES/EBUデジタル 音声入力ゲイン、内蔵400Hz・1000Hz正弦波ジェネレーターのレベルを設定します。

SDI IN CH1~8	SDI入力信号のエンベデッド音声入力ゲインを-30.0dB~+20.0dBの範
	囲で設定します。
HDMI IN CH1~8	HDMI入力信号のエンベデッド音声入力ゲインを-30.0dB~+20.0dBの範
	囲で設定します。
AES/EBU IN CH1~2	AES/EBU音声入力のゲインを-30.0dB~+20.0dBの範囲で設定します。
400Hz Sin、1000Hz Sin	内部生成される400Hz・1000Hz正弦波のレベルを、-30.0dBFS~
	0.0dBFSの範囲で設定します。

(v) INPUT DELAY

SDI入力信号およびHDMI入力信号に重畳されているエンベデッド音声入力、AES/EBUデジタル音声入力の遅延時間を設定します。

SDI IN CH1~8	SDI入力信号のエンベデッド音声入力遅延を3ms~1000msの範囲で設
	定します。
HDMI IN CH1~8	HDMI入力信号のエンベデッド音声入力遅延を3ms~1000msの範囲で
	設定します。
AES/EBU IN CH1~2	AES/EBUデジタル音声入力遅延を3ms~1000msの範囲で設定しま
	す。
SET VIDEODELAY	「VIDEODELAY」の値を設定します。
	この項目を選択しSETを押すと、「OK?」が表示されます。実行する場
	合はさらにSETを押し、キャンセルする場合はMENUを押してください。
	※SDI IN CH1~8にはSDI入力のVIDEODELAY値が、HDMI IN CH1~8およびAES/EBU IN
	CH1~2にはHDMI入力のVIDEODELAY値が設定されます。
	※SET VIDEODELAYを実行した時点のVIDEODELAYの値が設定されます。自動更新は行
	われませんので、映像遅延が変化したときは再度設定してください。

(vi) OVERLAY

スーパーのON/OFFに連動し、「OUTPUT CH SELECT」で選択された音声に、さらに別の音声をオー バーレイ(加算)することができます。

FADE動作の場合は、FADE SPEEDに合わせた時間でフェードイン/フェードアウトします。

EMB OUT CH1~8エンベデッド音声出力チャンネルごとに、オーバーレイ音声ソースを選択します。
※SDI出力、HDMI出力共通の設定です。別個の設定はできません。AES/EBU OUT CH1~2AES/EBUデジタル音声出力チャンネルごとに、オーバーレイ音声ソー

スを選択します。

音声ソースは、以下の項目から選択できます。

HDMI IN CH1~8	HDMI入力信号のエンベデッド音声から1つのチャンネルを選択しま
	す。
AES/EBU IN CH1~2	AES/EBUデジタル音声入力から1つのチャンネルを選択します。
MUTE	無音です。(オーバーレイを行いません)

※同一出カチャンネルにおいて、「OUTPUT CH SELECT」で設定された音声ソースと、「OVERLAY」で設定された音声ソースが同一の音声ソースにならないよう設定してください。

※プレビュー映像では、スーパーのON/OFFにかかわらず常にオーバーレイされた状態になります。

(5) SNAPSHOT

SDI入力映像およびHDMI入力映像を各4枚まで内部メモリに保存し、呼び出すことができます。

※揮発性メモリに保存されますので、電源OFFで消失します。

※インターレース入力時はODDフィールドとEVENフィールドが合成され、1枚の静止画として扱われます。I/P変換は行っておりません。

(i) SDI IN

SDI入力映像のスナップショット設定を行います。

SDI SS SELECT	ライン映像ソースを、SDI INまたはSNAPSHOT1~4から選択します。
	※SNAPSHOT1~4を選択した場合、ライン映像はスナップショットに置き換えられます。
TAKE SDI IN SS1∼4	スナップショットの取り込みを行います。
	取り込みを行いたいスナップショットのページ番号を選択し、SETを押
	すと、「OK?」が表示されます。実行する場合はさらにSETを押し、キャ
	ンセルする場合はMENUを押してください。
	※SDI出力フォーマットと同一のフォーマットでSDI入力されている場合のみ、スナップ
	ショットの取り込みが有効です。それ以外の場合、当該ページのスナップショットは破棄
	されます。
	※SDI出力フォーマットの変更により画角が変更された場合、すべてのSDI入力映像スナッ

プショットが破棄されます。

(ii) HDMI IN

HDMI入力映像のスナップショット設定を行います。

HDMI SS SELECT フィル映像ソースを、HDMI INまたはSNAPSHOT1~4から選択します。 ※SNAPSHOT1~4を選択した場合、フィル映像はスナップショットに置き換えられます。 TAKE HDMI IN SS1~4 スナップショットの取り込みを行います。 取り込みを行いたいスナップショットのページ番号を選択し、SETを押 すと、「OK?」が表示されます。実行する場合はさらにSETを押し、キャ

ンセルする場合はMENUを押してください。

※HDMI映像が入力されている場合のみ、スナップショットの取り込みが有効です。HDMI 映像が入力されていない場合、当該ページのスナップショットは破棄されます。

(6) GENLOCK

ゲンロックに関する設定を行います。

(i) REFERENCE SELECT

ゲンロックのリファレンス源を選択します。

SDI IN	SDI入力映像に含まれる同期信号をリファレンス源にします。
HDMI IN	HDMI入力映像に含まれる同期信号をリファレンス源にします。
REF IN	外部リファレンス入力に入力されているリファレンス信号をリファレンス
	源にします。
INTERNAL	非同期で動作します。

INTERNAL

※HDMIはSDIよりも周波数偏差の許容値が大きいため、HDMI IN設定ではロックできない、もしくは途中でロックが外れる場合があり ます。その場合はSDI IN、REF INまたはINTERNALでご使用ください。

※INTERNAL動作時の周波数偏差は最大±30ppmです。リファレンス信号を用意できない場合にご使用ください。

(ii) PHASE SD

SD出力時の出力映像位相を調整します。

V PHASE	映像出力の位相を1ライン単位で調整します。-350~350の範囲で調整
	可能です。
H PHASE	映像出力の位相を0.5ドット単位で調整します。-1000~1000の範囲で
	調整可能です。

(iii) PHASE HD

HD(3G)出力時の出力映像位相を調整します。

V PHASE	映像出力の位相を1ライン単位で調整します。-600~600の範囲で調整
	可能です。
H PHASE	映像出力の位相を1ドット単位で調整します。-1500~1500の範囲で調

整可能です。

※REFERENCE SELECTがHDMI INの場合はHDMI入力のVIDEO DELAYが、それ以外ではSDI入力のVIDEO DELAYが表示されます。 位相調整の目安にご利用ください。

(7) SYSTEM

全体に関する設定を行います。

- (i) VIDEO OUT FORMAT
 - 映像出力のフォーマットを選択します。

「SAME SDI IN」を選択すると、SDI入力フォーマットと同一のフォーマットで出力します。

出力フォーマットを固定する場合は、任意のフォーマットを選択してください。

※SDI出力、HDMI出力共通の設定です。別個の設定はできません。

※セグメントフレーム出力の場合、HDMIモニターでは表示できない場合があります。

※SDI INに対応外のフォーマットのSDI信号が入力された場合、または「VIDEO OUT FORMAT」で設定された映像フォーマットと違う フォーマットのSDI信号が入力された場合は、SDI入力ランプが消灯し、ライン映像は黒となります。(ただし、スナップショットが設 定されている場合は、スナップショット映像が出ます。)

- (ii) SDI OUTPUT MODE
 - SDI出力のモードを設定します。

LINE/PREVIEW	SDI LINE/FILL OUTにライン映像を、SDI PV/KEY OUTにプレビュー映
	像を出力します。
FILL/KEY	SDI LINE/FILL OUTにフィル映像を、SDI PV/KEY OUTにキー映像を出
	力します。

(iii) HDMI OUTPUT MODE

HDMI出力のモードを設定します。

LINE	ライン映像を出力します。
PREVIEW	プレビュー映像を出力します。
FILL	フィル映像を出力します。
KEY	キー映像を出力します。
SDI IN	ライン入力映像を出力します。

(iv) SAFTY MARKER

プレビュー映像へのセーフティーマーカー表示を設定します。

DISABLE	セーフティーマーカーを表示しません。
80%	80%セーフティーマーカーを表示します。
86%	86%セーフティーマーカーを表示します。
90%	90%セーフティーマーカーを表示します。
94%	94%セーフティーマーカーを表示します。

※4:3マーカー表示時は、4:3領域に対しての割合になります。

(v) 4:3 MARKER

プレビュー映像への4:3マーカー表示を設定します。
 DISABLE 4:3マーカーを表示しません。
 ENABLE 4:3マーカーを表示します。

※525i、625i出力の場合、この設定は無効です。

(vi) PREVIEW OSD

プレビュー映像へのオン	[,] スクリーンメニュー表示を設定します。
DISABLE	オンスクリーンメニューを表示しません。
ENABLE	オンスクリーンメニューを表示します。

(vii) GPI

REMOTEコネクターのTAKE1~6端子に対するアクションを設定します。

DISABLE	何もしません。
DSK CUT	CUTボタンと同様の動作をします。
	スーパーがONの時は、TALLYが返ります。
DSK FADE	FADEボタンと同様の動作をします。
	スーパーがフェード中またはONの時は、TALLYが返ります。
LOAD PRESET1~8	プリセットのロードを行います。
	設定が変更されるか他のプリセットがロードされるまで、TALLYが返り
	ます。
SDI SSOUT IN	「SDI SS SELECT」を「SDI IN」に設定します。
SDI SSOUT SS1~4	「SDI SS SELECT」を「SNAPSHOT 1~4」に設定します。
HDMI SSOUT IN	「HDMI SS SELECT」を「HDMI IN」に設定します。
HDMI SSOUT SS1~4	「HDMI SS SELECT」を「SNAPSHOT 1~4」に設定します。

TAKE SDI SS1~4 スナップショットの取り込みを行います。

TAKE HDMI SS1~4 スナップショットの取り込みを行います。

(viii) SAVE PRESET

各種設定値の保存を行います。

プリセットは8つまで設定を保存することができます。

プリセットカラーを除いたすべての設定が保存の対象になります。

プリセット番号を選択しSETを押すと、「OK?」が表示されます。実行する場合はさらにSETを押し、キャ ンセルする場合はMENUを押してください。

(ix) LOAD PRESET

各種設定値の呼び出しを行います。

プリセットカラーを除いたすべての設定が呼び出しの対象になります。

プリセット番号を選択しSETを押すと、「OK?」が表示されます。実行する場合はさらにSETを押し、キャンセルする場合はMENUを押してください。

(x) EDID MODE

HDMI INに接続されたHDMI/DVI送出機に応答するEDID情報を選択します。

- DVI DVI型のEDID情報を応答します。
- HDMI HDMI型のEDID情報を応答します。(推奨)

※HDMI INが入力されている状態で設定を変更すると、EDID情報を更新するため瞬間的にHDMI INが未接続状態となり、映像・音声 が乱れる場合があります。

※設定変更後、設定を反映させるためにHDMI/DVI送出機の再起動が必要な場合があります。

(xi) HDMI IN EQ LEVEL

HDMI INのケーブル補償(イコライザー)強度を0~7の8段階で設定します。数値が大きいほど、長い ケーブルを補償できます。

※自動調整機能はありません。出力映像を監視しながら、適切な値に調整してください。

※短いケーブルを使用時に数値を大きくすると、信号が強調されすぎ、正常に受信できない場合があります。適切な値に調整してく ださい。

※すべてのケーブルで正常受信を保証するものではありません。

(xii) PROGRAM VERSION

プログラムのバージョンを表示します。

※この項目は表示のみです。設定はできません。

(xiii) FPGA VERSION

FPGA ROMのバージョンを表示します。

※この項目は表示のみです。設定はできません。

(xiv) INITIAL RESET

すべての設定を、工場出荷時設定に戻します。

※設定プリセット、カラープリセット、スナップショットもすべて初期化されます。

6. 局間制御信号パケット・デジタル字幕データーパケット

局間制御信号パケット(ARIB STD-B39)、デジタル字幕データーパケット(ARIB STD-B37)を通過させることができます。 入出カフォーマットが1080p60/59.94 LEVEL-B(LINK-Aのみ通過)、1080i60/59.94、720p60/59.94、525iの場合のみ有効で す。

挿入位置などについては、ARIB TR-B23に適合する必要があります。

※ARB TR-B23に規定される、データー放送トリガ信号、ユーザーデータ1・2、ダミーパケットも通過します。
 ※入力されたパケットがそのまま出力されます。パケットの内容変更、並び替えなどは行いません。
 ※映像の入出力が同期していない場合は、パケットの重複・欠落が発生します。

7. USB接続によるPCからのコントロール

HCK-30は、USB接続によりホスト(PC)とリンクさせることで、ホストから設定の変更などの動作を行うことができます。HCK-30のUSB端子にはUSB/RS-232C変換ICが接続されており、PCからはシリアルポートとして認識できます。

<ホスト仕様>

USB端子を持つWindowsパソコン

<通信仕様>

USBシリアルコントローラ	FTDI社 FT232RL
転送方式	全二重通信
通信速度	19,200bps
データビット長	8bit
パリティチェック	なし
ストップビット長	1bit
ハードウェアフロー制御	なし
ソフトウェアフロー制御	なし

<通信コマンド>

通信はすべてアスキーデータで行われます。

ホスト側が通信の主導権を持ち、原則ホストからのコマンド送信に対し、HCK-30がコマンドに対するリ ターンを返答する流れとなります。

表1および表2にコマンドおよびコマンドリターンの構造を示します。

※エコーは返しませんので、必要に応じて通信ソフトウェア側でローカルエコーを設定してください。

名称	サイズ[byte]	例	内容
ヘッダー	1	<i>"</i> #″	コマンドの開始を示します。
通し番号	4	"0001″	コマンド発行ごとに 0001~9999 の範囲でインクリメントします。 この番号は、HCK-30 で連続性のチェックが行われます。 また、HCK-30 からの応答の際に付加され、コマンドと戻りパラメーターの紐 付けに使用されます。 0000 を指定した場合は、番号の連続性についてチェックを行いません。
זעדב	3	″V01″	アルファベット1文字および数字2桁から構成されます。 原則、アルファベットがラージの場合は設定の書き込み、スモールの場合は 読み出しとなります。 コマンドの内容については、コマンドー覧をご覧ください。
スペース	1	" "	ヘッダー部とパラメーター部の区切りです。
パラメーター	1~128	<i>"</i> 1.0,2,3,4,5″	主に設定書き込み時に、コマンドに対応したパラメーターを記述します。 複数パラメーターを指定する場合はカンマ ^{7,7} で区切ります。 パラメーターの内容については、コマンドー覧をご覧ください。
スペース	1		パラメーター部とチェックサム部の区切りです。 チェックサムを省略する場合は、省略可能です。
チェックサム	4	″03E8″	コマンド全体のチェックサム値です。16 進数4桁で表します。 省略可能です。
フッター	2	[CR][LF]	コマンドの終わりを示す改行コードです。 [CR][LF](0x0D, 0x0A)を送信します。

(ホスト→HCK-30)

表7-1 コマンド構造

(HCK-30→ホスト)

名称	サイズ[byte]	例	内容	
ヘッダー	1	<i>"</i> #″	コマンドリターンの開始を示します。	
通し番号	4	″0001″	コマンドで指定された通し番号を返します。	
ステータス	3	"A00"	コマンドの処理結果を報告します。 内容については、表3 コマンドリターンステータス一覧をご覧ください。	
スペース	1	""	ヘッダー部とパラメーター部の区切りです。	
パラメーター	1~128	<i>"</i> 1.0,2,3,4,5″	設定書き込みコマンドに対する応答の場合は、設定されたパラメーターを返 します。 読み出しコマンドの場合は、読みだされたパラメーターを返します。	
スペース	1	""	パラメーター部とチェックサム部の区切りです。	
チェックサム	4	″03D2″	コマンド全体のチェックサム値です。16 進数4桁で表します。	
フッター	2	[CR][LF]	コマンドリターンの終わりを示す改行コードです。 [CR][LF](0x0D,0x0A)を返します。	

表7-2 コマンドリターン構造

ステータス	内容
A00	コマンドが正常に実行されました。 また、通し番号の連続性が確認されました。
A01	コマンドが正常に実行されました。 しかし、通し番号の連続性が確認できませんでした。
N00	コマンド構造が異常です。 コマンドリターンのパラメーターに、Command Error、が返されます。 また、通し番号は、0000、が返されます。
N01	チェックサムエラーです。 コマンドリターンのパラメーターに、Checksum_Error、が返されます。 また、通し番号は、0000、が返されます。
N02	該当するコマンドが見つかりませんでした。 コマンドリターンのパラメーターに"Unknow_Command"が返されます。
N03	パラメーターが異常です。 コマンドリターンのパラメーターに ["] Parameter <u>-</u> Error ["] が返されます。
N04	パラメーター値が設定可能範囲を超えています。 コマンドリターンのパラメーターに"Parameter_Besides_Range"が返されます。
N05	コネクション開始コマンドが実行されていません。 コマンドリターンのパラメーターに、Connected_Error、が返されます。

表7-3 コマンドリターンステータス一覧

<コマンド一覧>

コマンド体系は、およそメニュー体系と同様のつくりになっています。(表7-4) 各コマンドの具体的な動作や設定可能なパラメーター範囲については、表7-5「コマンド詳細」および「各機 能の説明」(P.12~)の当該項目をご覧ください。

			パラメーター			
7476	石柳	1	2	3	4	5
			[VIDEO PROCESS	S]		
V00/v00	KEYING MODE	MODE	-	-	-	-
V01/v01	CHROMAKEY PARAM.	HUE	APERTURE	SAT	SPILL LEVEL	SPILL EDGE
V02/v02	SELFKEY PARAM.	LUMA CLIP L	LUMA CLIP H	CHROMA CLIP L	CHROMA CLIP H	-
V03/v03	COLORKEY COLOR	R	G	В	-	-
V04/v04	PICKUP COLOR	х	Y	-	-	-
V05/v05	FILL SELECT	SELECT	-	-	-	-
V06/v06	FILL COLOR SD	COLOR NUMBER	-	-	-	-
V07/v07	FILL COLOR HD	COLOR NUMBER	-	-	-	-
V08/v08	FILL CUT	X1	Y1	X2	Y2	-

V09/v09	FILL TRIM	X1	Y1	X2	Y2	-
V10/v10	FILL POSITION	X1	Y1	-	-	-
V11/v11	EDGE MODE	MODE	-	-	-	-
V12/v12	DROP MODE	MODE	-	-	-	-
V13/v13	EDGE WIDTH	NORMAL/DROP	CUSTOM TOP	CUSTOM BOTTOM	CUSTOM LEFT	CUSTOM RIGHT
V14/v14	EDGE COLOR SD	COLOR NUMBER	-	-	-	-
V15/v15	EDGE COLOR HD	COLOR NUMBER	-	-	-	-
V16/v16	FADE SPEED	SPEED	-	-	-	-
V17/v17	KEY LEVEL	LEVEL	-	-	-	-
V18/v18	COLOR PRESET	COLOR NUMBER	NAME	Н	L	S
			[AUDIO PROCES	S]		
A00/a00	PACKET MUX	GROUP	MUX	-	-	-
A01/a01	AES/EBU IN/OUT	IN/OUT	-	-	-	-
A02/a02	OUTPUT CH SELECT	OUTPUT CH	INPUT CH	-	-	-
A03/a03	INPUT GAIN	INPUT CH	GAIN	-	-	-
A04/a04	INPUT DELAY	INPUT CH	DELAY	-	-	-
A05	SET VIDEODELAY	″NA″	-	-	-	-
A06/a06	OVERLAY	OUTPUT CH	INPUT CH			
			[SNAPSHOT]		•	•
S00/s00	SDI SS SEL	SOURCE	-	-	-	-
S01	SDI SS TAKE	SS PAGE	-	-	-	-
S02/s02	HDMI SS SEL	SOURCE	-	-	-	-
S03	HDMI SS TAKE	SS PAGE	-	-	-	-
	I		[GENLOCK]	I	I	I
G00/g00	REFERENCE SELECT	SELECT	-	-	-	-
G01/g01	PHASE SD	v	Н	_	-	-
G02/g02	PHASE HD	V	Н	-	-	-
			[SYSTEM]		1	1
Y00/y00	VIDEO OUT FORMAT	FORMAT	-	-	-	-
Y01/y01	SDI OUTPUT MODE	MODE	-	_	_	_
Y02/y02	HDMI OUTPUT MODE	MODE	-	_	_	-
Y03/y03	SAFTY MARKER	MARKER	-	_	_	-
Y04/y04	4:3 MARKER	SELECT	-	_	_	_
Y05/y05	PREVIEW OSD	SELECT	-	_	_	_
Y06/y06	GPI	NUMBER	SELECT	_	_	_
Y07	SAVE PRESET	NUMBER	_	_	_	_
Y08	LOAD PRESET	NUMBER	_	_	_	_
Y09/y09	EDID MODE	MODE	-	_	_	_
Y10/y10	HDMI IN EQ LEVEL	EQ LEVEL	_	_	_	_
y11	PROGRAM VERSION	VERSION	_	_	_	_
y12	FPGA VERSION	VERSION	-	_	_	_
Y13	INITIAL RESET	″NA″	_	_	_	_
-	1	1	[OTHERS]	1	1	1
Z00	BOOT CHECK	″NA″	-	_	_	_
701	CONNECTION	″NA″	_	_	_	_
702	DISCONNECTION	″NA″	_	_	_	_
703	CONNECTION CHECK	″NA″	_	_	_	_
704/04		MODE	_	_	_	_
207/207	BOATHAL	MODE				

表7-4 コマンド一覧

<チェックサム>

コマンドの最後にチェックサムを付加することにより、コマンドの信頼性を向上させることができます。 チェックサムは、ヘッダーの"#"から、チェックサム部直前の区切りのスペースまでを、初期値が0の16bit カウンタに加算したものを16進数で示します。

例) #0001Z00 HELL0 0352[CR][LF]

(波線部がチェックサム対象範囲です。)

チェックサムエラーが発生したコマンドは、実行されません。

チェックサムは省略が可能です。チェックサムが省略された場合は、コマンド構造が適当であれば実行されます。

<接続の確立>

HCK-30の起動直後、実行できるコマンドはZ00(BOOT CHECK)およびZ01(CONNECTION)に限られます。 それ以外のコマンドはN05(Connected_Error)ステータスが返されます。

起動後の接続シーケンスは以下の通りです。

- 1) HCK-30の電源投入後、ホストはHCK-30が接続されているCOMポートを開き、Z00コマンドを実行しコマンドリターンが正常であることで起動完了を確認します。
- 2) HCK-30の起動確認後、ホストはZ01コマンドを実行し、HCK-30との接続を確立します。これにより、すべてのコマンドが有効になります。
- 3) 接続が確立されているかを確認するには、Z03コマンドを実行し、コマンドリターンが正常である ことを確認します。
- 4) Z02(DISCONNECTION)コマンドを実行するか、有効なコマンドが10分以上ない状態が続くと、接続が切れます。再度接続するには、Z01コマンドを再度実行してください。

また、接続が確立している間は、HCK-30本体のUSBランプが緑に点灯します。

<パラメーター>

1つのコマンドにつき1つ、または複数のパラメーターを持っています。 パラメーターを複数持つコマンドは、パラメーターごとをカンマ(",")で区切ってください。 また、パラメーターは省略せず、すべてのパラメーターを指定してください。

数値で指定するパラメーターは、数値をそのままパラメーターとしてください。 小数点、マイナス符号も使用できます。 例)#0001V01 12.3,4,-5,6,7[CR][LF]

選択肢で指定するパラメーターは、文字列をパラメーターとしてください。 例)#0001V00 CHROMAKEY[CR][LF]

読み出しコマンド v18・a00・a02・a03・a04・a06・y06を実行する場合は、第一パラメーターを指定してください。そのほかの読み出しコマンドは、パラメーターの参照はされませんが、コマンドルールを維持するためダミーのパラメーターを入れてください。

コマンド	コマンド名	パラメーター名	パラメーター候補	備考
V00/v00	KEYING MODE		DISABLE	
			BOX PASTE	
		MODE	CHROMAKEY	
			SELEKEY	
V01/01				
VU1/VU1	UTRUMANET PARAMI.		0.0~359.5(0.5 ×) 92)	
		APERIURE	0~100	
		SAI	-100~100	
		SPILL LEVEL	0~100	
		SPILL EDGE	0~100	
V02/v02	SELFKEY PARAM.	LUMA CLIP L	0.0~99.9	
		LUMA CLIP H	0.1~100.0	
		CHROMA CLIP L	0.0~99.9	
		CHROMA CLIP H	0.1~100.0	
V03/v03	COLORKEY COLOR	R	0~255	
		G	0~255	
		В	0~255	
V04/v04	PICKLIP COLOR	X	0~1919	コマンバ実行により XYを設定後 PICKUP
101/101		V	0~1100	
VU3/VU3	FILL SELECT	SELECT		
			INTERNAL	
				1~32 はカラープリセット番号、33~40 は固定
				色が割り当てられます。
V06/v06	FILL COLOR SD	COLOR NUMBER	1~40	33:WHITE
				34:YELLOW
				35:CYAN
				36 GREEN
				37 MAGENTA
V/07 / 07			1 10	38-DED
V0//V0/	FILL COLOR HD	COLOR NUMBER	1~40	20:PLUE
			· _ 0	
V08/v08	FILL CUT	X1	0~1920(2 ステップ)	偶数のみ設定可能
		Y1	0~1200(2ステップ)	
		X2	1~1921(2ステップ)	奇物のみ設定可能
		Y2	1~1201(2 ステップ)	
V09/v09	FILL TRIM	X1	0~1918(2 ステップ)	俚物のみ設定可能
		Y1	0~1198(2 ステップ)	
		X2	1~1919(2 ステップ)	大教のな記中可坐
		Y2	1~1199(2ステップ)	可致のみ設定可能
V10/v10	FILL POSITION	X1	0~1918(2 ステップ)	
		Y1	0~1198(2 ステップ)	偶数のみ設定可能
V11/v11	EDGE MODE		DISABLE	
			NORMAL SOFT	
		MODE		
		WUDE		
			CUSTOM_SOFT	
			CUSTOM_HARD	
V12/v12	DROP MODE		TOP-LEFT	
		MODE	TOP-RIGHT	
		WUDE	BOTTOM-LEFT	
			BOTTOM-RIGHT	
V13/v13	EDGE WIDTH	NORMAL/DROP	0,2,4,6,8	
		CUSTOM TOP	0,2,4,6,8	
		CUSTOM BOTTOM	0.2.4.6.8	
			02468	
			02468	
			0,2,4,0,0	
				1~32 はカフーフリセット番号、33~40 は固定
				というしょうでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この
V14/v14	EDGE COLOR SD	COLOR NUMBER	1~40	33:WHITE
				34:YELLOW
				35:CYAN

				36:GREEN
				37:MAGENTA
V15/v15	EDGE COLOR HD	COLOR NUMBER	1~40	38:RED
				39:BLUE
				40:BLACK
V16/v16	FADE SPEED	SPEED	1~150	
V17/v17	KEY I EVEL		0~100	
V18/v18	COLOR PRESET	COLOR NUMBER	1~32	カラープリセット番号を、数値で指定
110/110	00E0HTHE0E1			一部の文字は"%"から始まるエスケープキャ
				ti →%s
		NAME	半角英数記号 15 文字以内	スペース→%
				, →%.
				% <u>→</u> %%
		Н	0~359.9	
		L	-6.8~109.1	
		S	0.0~160.1	
A00/a00	PACKET MUX	GROUP	1,2	
			DISABLE	
		MUX	ENABLE	
A01/a01	AES/EBU IN/OUT	IN/OUT	INPUT	
			OUTPUT	
				設定を変更する音声出力チャンネルを指定し
A02/a02	OUTPUT CH SELECT		E1~E8	設定を変更する自戸山がパンパッションを指定し
		OUTPUT CH		「F」はエンベデッド音声出力、「A」は AFS/FBU
				音声出力で、続く数字はチャンネルを示しま
			AI~A2	す。
			C1 C0	
			51~58	
			H1~H8	
			A1~A2	
		INPUT CH	400	カで続く数字はチャンネルを示します
			400	[4001は 400Hz Sin [10001は 1000Hz Sin を示].
			1000	ます。
			MUTE	
A00 / 00			01.00	
AU3/aU3	INPUT GAIN		51~58	ゲインを変更する音声ソース指定します。
			H1~H8	「S」は SDI エンベデッド音声入力、「H」は HDMI
		INPLIT CH	A1~A2	エンベデッド音声入力、「A」はAES/EBU音声出
			, (i ,) <u>L</u>	力で、続く数字はチャンネルを示します。
			400	「400」は 400Hz Sin、「1000」は 1000Hz Sin を示し
			1000	ます。
			-300~200	400Hz Sin 1000Hz Sin の設定範囲は括弧書き
		GAIN	$(-300 \sim 00)$	に示される範囲となります。
404/04		1	01.00	
A04/a04	INPUT DELAY		\$1~58	ディレイを変更する音声ソース指定します。
		INPUT CH	H1~H8	「S」はSDIエンベデッド音声入力、「H」はHDMI
				エンベデッド音声入力、「A」はAES/EBU音声出
			A1~A2	カで、続く数字はチャンネルを示します。
		DFI AY	3~1000	
				パラメーターは参照されませんが、コマンバ
A05	SET VIDEODELAY	″NA″		ルールを維持するため、ダミーのパラメーター
				を入れてください。
A06/a06	OVERLAY		E1~E8	設正を変更9 る百戸山刀ナヤンネルを指定し ++
				あり。 「F リナナン」がごいいなましょう 「A リナ AFO / FOU
				「こ」はエノハアット百戸四川、「A」は AES/EBU 辛吉山カで 結/粉字けチェッ・クリ たーしま
			A1~A2	ロアロハン、「バン数丁はノンノイルを小しよ
				7 0
			H1~H8	
				オーバーレイする音声ソースを指定します。
		INPUT CH	A1~A2	「H」はHDMIエンペテット省声人力、「A」は
				AES/EBU 百戸八刀で、続く剱子はナヤンネル
			MUTE	を示しまり。
S00 /-00		SOURCE		
300/ SUU	SUI SS SEL	SUURCE		

			SS1~4	
S01	SDI SS TAKE	SS PAGE	1~4	「TAKE SDI IN SSn」を実行します。 (n = パラメーター値)
S02/s02	HDMI SS SEL	SOURCE	HDMI_IN SS1~4	
S03	HDMI SS TAKE	SS PAGE	1~4	「TAKE HDMI IN SSn」を実行します。 (n = パラメーター値)
G00/g00	REFERENCE SELECT		SDI_IN	
		SELECT	HDMI_IN	
		SELECT	REF_IN	
			INTERNAL	
G01/g01	PHASE SD	V	-350~350	
		Н	-1000~1000	
G02/g02	PHASE HD	V	-600~600	
		Н	-1500~1500	
Y00/y00	VIDEO OUT FORMAT		SAME_SDI_IN	
			525i	
			625i	
			1080/60i	
			1080/59.94i	
			1080/50i	
			1080/60p-A	
			1080/60p-B	
			1080/59.94p-A	
			1080/59.94p-B	
		FORMAT	1080/50p-A	
			1080/50p-B	
			1080/30p	
			1080/29.97p	
			1080/25p	
			1080/24p	
			1080/24sF	
			1080/23.98p	
			1080/23.98sF	
			720/60p	
			720/59.94p	
			720/50p	
Y01/y01	SDI OUTPUT MODE	MODE	LINE/PREVIEW	
		MODE	FILL/KEY	
Y02/y02	HDMI OUTPUT MODE		LINE	
			PREVIEW	
		MODE	FILL	
			KEY	
			SDI_IN	
Y03/y03	SAFTY MARKER		DISABLE	
			80	
		MARKER	80	
			90	
V04 / .04				
104/y04		SELECT		
Y05/v05				
100/ 900		SELECT	FNARI F	
Y06/v06	GPI	NUMBER	1~6	
. 55, 900			DISABLE	
			CUT	
			FADE	
			PRE1~8	
			SDISS IN	
		SELECT	SDISS1~4	
			HDMISS IN	
			HDMISS1~4	
			TAKE SDISS1~4	
			TAKE HDMISS1~4	
Y07	SAVE PRESET	NUMBER	1~8	
Y08	LOAD PRESET	NUMBER	1~8	

Y09/y09	EDID MODE	MODE	DVI HDMI	
Y10/y10	HDMI IN EQ LEVEL	EQ LEVEL	0~7	
y11	PROGRAM VERSION	VERSION		
v12	FPGA VERSION	VERSION		
Y13	INITIAL RESET	"NA"		「INITIAL RESET」を実行します。 パラメーターは参照されませんが、コマンド ルールを維持するため、ダミーのパラメーター を入れてください。
Z00	BOOT CHECK	″NA″		HCK-30 の起動確認を行います。 パラメーターは参照されませんが、コマンド ルールを維持するため、ダミーのパラメーター を入れてください。 コマンドが成功すると、コマンドリターンに "HELLO"のパラメーターが返されます。 このコマンドは、コネクションの確立にかかわ らず実行できます。
Z01	CONNECTION	″NA″		HCK-30 とのコネクションを確立します。 コネクション確立前は、200 および 201 以外の コマンドは無効となります。 コネクションが確立すると、本体 USB ランプが 緑に点灯します。 有効なコマンドが 10 分以上ない場合、コネク ションは解除されます。 パラメーターは参照されませんが、コマンド ルールを維持するため、ダミーのパラメーター を入れてください。 コネクションに成功すると、コマンドリターンに "CONNECT"のパラメーターが返されます。
Z02	DISCONNECTION	″NA″		HCK-30 とのコネクションを解除します。 パラメーターは参照されませんが、コマンド ルールを維持するため、ダミーのパラメーター を入れてください。 コマンドが成功すると、コマンドリターンに "DISCONNECT"のパラメーターが返されま す。
Z03	CONNECTION CHECK	″NA″		HCK-30 とのコネクションが確立しているかを 確認します。 パラメーターは参照されませんが、コマンド ルールを維持するため、ダミーのパラメーター を入れてください。 コネクションに成功すると、コマンドリターンに "CONNECT"のパラメーターが返されます。
Z04/z04	DSK TAKE	MODE	CUTIN FADEIN CUTOUT FADEOUT	CUT 動作で DSK をオンにします。 FADE 動作で DSK をオンにします。 CUT 動作で DSK をオフにします。 FADE 動作で DSK をオフにします。 読み出し時は、スーパーON 時は"CUTN"、 スーパーOFF 時は"CUTOUT"、フェードイン動 作中は"FADEIN"、フェードアウト動作中は "FADEOUT"が返されます。

表7-5 コマンド詳細

8. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)

- 現象 電源が入らない!
- 原因・ACアダプターが正しく接続されていますか?
 ・ACアダプターに電源が供給されていますか?(100~240V 40~60Hz)
 →ACアダプターの接続、AC電源の供給を確認してください。
- 現象 操作ボタンが反応しない!
- ・PANEL LOCKスイッチがONになっていませんか?
 →PANEL LOCKスイッチをOFFにしてください。(→P.6「パネルロックスイッチ」)
- 現象 映像が出力されない、出力映像がおかしい!
- 原因・SDI信号が入力されていますか?
 - ・SDI入力信号のフォーマットは本機の仕様に適合していますか?
 - ・HDMI信号が入力されていますか?
 - ・HDMI入力信号のフォーマットは本機の仕様に適合していますか?
 - ・HDMI信号にHDCP(プロテクト)がかかっていませんか?
 - ・SDI出力・HDMI出力の接続機器は、本機の出力フォーマットに対応していますか?
- 現象 音声が出力されない、音声出力がおかしい!
- **原因**・音声入力の選択は正しいですか?
 - →音声入力を正しく設定してください。(→P.18「OUTPUT CH SELECT」)
 - ・HDMI INの入力はHDMI信号ですか?
 - →規格上、DVI信号に音声はエンベデッドされません。
 - AES/EBU IN/OUTの入出力設定は正しいですか?
 - →AES/EBUの入出力設定を確認してください。(→P.17「AES/EBU IN/OUT」)
 - ・SDI OUTの音声パケットは有効になっていますか?
 - →音声パケットを有効にしてください。(→P.17「PACKET MUX」)
 - ·音声入力ゲインの設定は適切ですか?
 - →入力ゲインを適切に設定してください。(→P.18「INPUT GAIN」)
- 現象 ファン警告ランプが点滅している!
- 原因・排気孔に、ほこりや異物がはさまっていませんか?
 →電源を切り、ほこりや異物を取り除いてください。

※ほこりや異物を取り除いても点滅が続く場合はすぐに使用を中止し、弊社 までご連絡ください。

※パッチ盤使用に関するお知らせ

当機種は、対となっている同系統SDI出力(LINE/FILL OUT1とLINE/FILL OUT2、およびSDI PV/KEY OUT1 とSDI PV/KEY OUT2)のOUT1を本線、OUT2をパッチ盤に接続してご使用の際、パッチ盤へのジャック挿抜 により、稀にOUT1側にCRCエラーが発生する場合があります(OUT2本線、OUT1パッチ時も同様)。 運用中のパッチ盤切り替えはなるべく行わないようお願いいたします。 なお、本事象はHD-SDI、3G-SDIでのみ発生いたします。

お問い合わせは、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

9.仕様	
1. 定格	
HCK-30	
入力信号	
· SDI IN	SMPTE 424M/292M/259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 1系統
· HDMI IN	HDMI 1.4a準拠 タイプAコネクター 1系統 ※
	※Deep Color、xvYCC、sYCC601、AdobeRGB、AdobeYCC601、3Dには
n.	対応しておりません。
· REF IN	BBS、0.43Vp-p//5公または3個SYNC、0.6Vp-p//5公BNC 1糸統 ※
	※3個STNCEBBSは自動切り省え、 1080p60/59.94/50の3値SYNCには対応しておりません。
· AES/EBU IN/OUT	SMPTE 276M準拠、1.0Vp-p±10%/75Ω、BNC 1系統
 出力信 号	
· SDI OUT	SMPTE 424M/292M/259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 2系統
· HDMI OUT	HDMI 1.4a準拠 タイプAコネクター 1系統 ※
	*Deep Color、xvYCC、sYCC601、AdobeRGB、AdobeYCC601、3DIこは
	対応しておりません。
	1000-60 /50 04 /50 /20 /20 07 /25 /24 /24-E /22 00 /22 00-E
	1000000/ 39.94/ 30/ 30/ 29.97/ 23/ 24/ 248F/ 23.90/ 23.908F 1000:00 /50 04 /50 - 720-60 /50 04 /50 - 525: - 625: - 821
	1080100/ 59.94/ 50、720p00/ 59.94/ 50、5251、6251 ※1 640v490~1020v1200miv(ズンターレーフ・プログレッシュン) 24EDS~60EDSの符
	040x400*~1920x1200plx(インターレース・ノロクレクシン)、24FF3**00FF300判 囲の任音の報告はとびつレースレート ※2 ※3 ※4 ※5
	四の正志の/Fig/20/30/20 07/25/2/ /2/cF/23 08/23 08cF
	108060/59 94/50 720~60/59 94/50 525; 625; ×1 ×5
	1000100/00.04/00、720p00/00.04/00、0201、0201、0201 ※1 ※0 ※1 SDIの1080x60/59.94/50はLEVEL-A・LEVEL-Bに対応しています。
	※2 入力解像度が出力解像度を超える場合、超えた部分の映像は切り捨てられます。
	※3 フレーム補間は行っておりません。フレームのスキップ・リピートの発生により、出力
	映像かりタント C見える場合があります。 ※4 インターレース/プログレッシブ補間は行っておりません。インターレース入力映像を
	プログレッシブ出力する場合、出力映像が乱れて見える場合があります。
	※5 HDCPには対応しておりません。
音声フォーマット	
・SDIエンペデッド入田力	非圧縮リニアPCM 48kHz/24bit(3G/HD)・20bit(SD)
・HDMIエンペデッド入力	非圧縮リニアPCM 32kHz・44.1kHz・48kHz/16~24bit
・HDMIエンペテット出力	非圧縮リニアPCM 48kHz/24bit
・AES/EBU人力	非圧縮リニアPCM 32kHz・44.1kHz・48kHz/16~24bit
	手圧縮リーアPCM 48kHz/24bit
山刀位怕調金	
・ 消止(V)	3G/HD:±000、SD:±3300(調査ステツノ 「フイノ) 20/UD:±1500(調整ステップ 1ビット) CD:±1000(調整ステップ 05ビット)
・(円(口) 手店	3G/HD:エ1500(調整ステック 「トット)、SD:エ1000(調整ステック 0.5トット)
电 派 	DC9=16V、XLR=4(m) T未祝(T,2番ビン:GND、3,4番ビン:DC9=16V)
<u>//1頁电//</u> 从 以 计 注	
<u></u> 石昌	
_ <u>只里</u> 勈作泹由	
<u>判下加え</u> 動作泪在	
到JTF/亚/殳	20~00~m~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

VAC-12V03A (付属 AC アダプター)

電源入力	AC100~240V、47~63Hz 、0.93A 、平型2ピンプラグ
電源出力	DC +12V/3.33A 、XLR-4(f)(1番ピン:GND、4番ピン:DC+12V)
動作温度	0~40°C
動作湿度	20~80% RH(ただし結露なき事)

※ 本製品は240Vの電源電圧に対応しますが、付属のACケーブルは125V耐圧のものです。

本製品を125V~240Vの電源電圧でご使用する場合は、別途240V対応のACケーブルをご用意ください。

2.	性能	
	入力特性	
	· SDI IN	
	分解能	10bit
	サンプリング周波数	3G:148.5MHz•148.35MHz HD:74.25MHz•74.17MHz SD:13.5MHz
	イコライザー特性	3G:100m/5CFB、HD:100m/5CFB、SD:300m/5C2V
	反射減衰量	5 MHz~1.485 GHz:15 dB以上、1.485 GHz~2.97 GHz:10 dB以上
	• HDMI IN	
	分解能	RGB 4:4:4 8bit, Y/Cb/Cr 4:4:4 8bit, Y/Cb/Cr 4:2:2 8bit
	サンプリング周波数	25MHz~165MHz
	· AES/EBU IN	
	分解能	16~24bit
	サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz
出力特性		
	· SDI OUT	
	分解能	10bit ※HDMIINから入力された映像については、8bit相当の映像品質となります。
	サンプリング周波数	3G:148.5MHz•148.35MHz HD:74.25MHz•74.17MHz SD:13.5MHz
	信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
	反射減衰量	5 MHz~1.485 GHz、15 dB 以上 1.485 GHz~2.97 GHz、10 dB 以上
	立ち上がり/立ち下がり時間	3G:135ps 以下(20%~80%間)
		HD:270ps以下(20%~80%間)
		SD:0.4ns~1.5ns(20%~80%間)
	オーハーシュート	10%以下
	DCオノセット	土500mV 以内
	ンツダー特性	
	ゲフイメント	
		3G:2.001, HD:1.001, SD:0.201 K P
	カ府記	
	ALS/LDO OUT	2 <i>1</i> /bi+
	サンプリング周波数	2401 48kHz
	<u></u>	
	・映像(SDI)	1ms~43ms(入出力フォーマットにより変化)
	・映像(HDMI)	17ms~85ms (入出力フォーマットにより変化)
	te	

・音声

3ms~1000ms (1ms 単位で任意設定)

3. リモートコネクター

D-sub 高密度 15 ピン(f)

※TTL 信号で接点制御する場合は、吸い込み電流が 12mA まで耐えられるデバイスで駆動してください。

※接点入力の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。



ピン番号	信号	機能
1	接点入力	TAKE 1
2	接点入力	TAKE 2
3	接点入力	TAKE 3
4	接点入力	TAKE 4
5	接点入力	TAKE 5
6	接点入力	TAKE 6
7	接点入力コモン	接点入力のコモンです。GND に接続されています。
8	予約	何も接続しないでください。
9	接点出力コモン	接点出力のコモンです。フロートしています。
10	接点出力	TALLY 1
11	接点出力	TALLY 2
12	接点出力	TALLY 3
13	接点出力	TALLY 4
14	接点出力	TALLY 5
15	接点出力	TALLY 6

※接点入力のパルス幅は 100ms 以上となるようにしてください。

10. 外形寸法



単位:mm

11. ブロック図



本書に記載している商標

Microsoft[®]、Windows[®]は、Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。 その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。



お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。
 本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
 大阪営業所 TEL 06-6195-8741
 ビデオトロン株式会社 E-Mail:sales@videotron.co.jp
 本社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

נדארם>weby-r> https://www.videotron.co.jp 101549R07

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。